

岡山いのちの電話公開シンポ

「メッセージ伝え希望を」

AMDA代表 菅波氏が講演

自殺防止を呼びかける「電話協会」(主催)が15日第19回「岡山いのちの電話公開シンポジウム」(社会福祉法人「岡山いのち

の電話協会」主催)が15日、岡山市奉還町1のオルガホールであった。国際医療援助団体「AMD



「関心を持っている」とメッセージを伝える

「ことが大切」と話すAMDAの菅波茂代表

―岡山市奉還町1のオルガホールで

A(本部・岡山市櫛津)の菅波茂代表が講演し、「絶望的な状況でも、『あなたに関心を持っていきます』というメッセージを伝えれば、人は希望を保持する」と話した。

講演は「いのちの大切さ―AMDAの活動を通して」の題で、市民約150人が耳を傾けた。菅波代表はインド洋大津

波やパキスタン地震などの緊急救援活動を紹介し、「災害の被災者は世界から見放されることを最も恐れている」と説明。同協会の活動について「悩みを聞き、相手を認めるという点はAMDAと同じ。メッセージがあれば、絶望した人も自殺することはない」と述べた。

同協会は1984年に設立。さまざまな悩みを持つ市民からの相談を年間約2万件受け付け、自殺防止などを訴えている。相談電話は086・245・4343。

【四谷寛】